

製品名: eIF4E ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85532**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 25 kDa

抗原情報

遺伝子名	eIF4E
別名	EIF4E; EIF4EL1; EIF4F; Eukaryotic translation initiation factor 4E; eIF-4E; eIF4E; eIF-4F 25 kDa subunit; mRNA cap-binding protein
遺伝子 ID	1977.0
SwissProt ID	P06730
免疫原	ヒト eIF4E の合成ペプチド

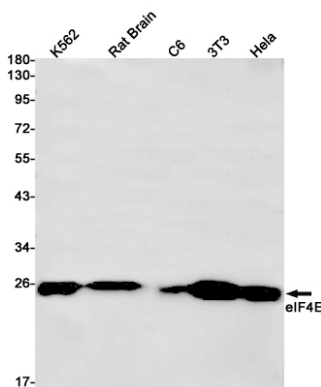
背景

eIF4E は、接合子転写開始前の初期胚において、母体 mRNA の翻訳を調節するタンパク質です。eIF4E は翻訳速度全体にも影響を与えます。eIF4E は真核生物 mRNA の 7 メチル GTP キャップ構造に結合します。eIF4E のセリン 209 のリン酸化は、このタンパク質の 7 メチル GTP キャップおよび/または RNA に対する親和性を調節します。リン酸化はまた、eIF4E と eIF4G の相互作用を促進し、eIF4F と呼ばれる複合体を形成します。eIF4E のリン酸化は、多くの細胞種において翻訳速度の上昇と相関しています。

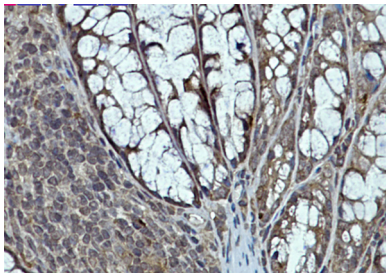
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

画像データ



eIF4E 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、HeLa 溶解物中の eIF4E のウエスタンブロット分析。



eIF4E 抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。